

ベコ太郎



共に創り、つなぐ、稲作情報 カメムシ類防除号

南会津農林事務所 農業振興普及部 Tel 62-5262

南郷普及所 Tel 72-2243

令和5年7月27日

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/inasakugijyutujyouhou.html>

この資料は、令和5年7月19日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。

☆出穂期を基準にカメムシ類の適期防除を行いましょう！

☆8月の畦畔除草は控えましょう！

☆農薬散布前に使用時期と希釈倍数や散布量を確認しましょう！

1 天気予報

(7月20日 仙台管区气象台発表の1か月予報 期間：7月22日～8月21日)

・平均気温は高い、降水量、日照時間はほぼ平年並の見込みです。期間をとおして、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

【農作業中の熱中症に注意しましょう！】

県内では毎年5月上旬から農作業中の熱中症が発生しています。熱中症を軽視せず、予防に努めてください。



2 斑点米カメムシ対策

(1) 斑点米カメムシについて

斑点米カメムシ類は、8月に高温少雨が続きと水田への飛来が多くなります。千粒に2粒の斑点米があると2等米に落等してしまいますので、適切な防除により、斑点米の発生を防ぎましょう。

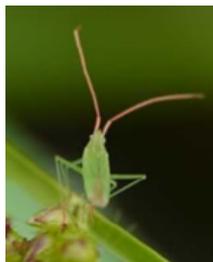
南会津地域で出穂期前後に多く発生が見られるのは、以下の3種です。今年の調査では平年に発生が確認されておりますので、次ページを参考に適切な防除を実施しましょう。

・アカスジカスミカメ
(4～6mm)



●はねに赤色の太い縦条がある

・アカヒゲホソミドリ
カスミカメ(4～6mm)



●赤いヒゲがあり胴体は
細長の淡い緑色

・ホソハリカメムシ
(約1cm)



●体色は茶色

※ドローンを使った薬剤散布作業を受託している方もいますので、薬剤散布の時間が無いなど、興味・関心のある方は農林事務所・JAまでご相談ください。

(2) 防除

品種ごとに生育ステージを把握し、適期に防除をしましょう。

＜平年の南会津地域の水稲出穂時期等＞

品種名	平年の出穂期	穂揃期（出穂し穂が揃う頃）	乳熟期（出穂期の7～10日後）
里山のつぶ（下郷）	8/2～8/10	8/4～8/12	8/9～8/17
ひとめぼれ（田島）	8/3～8/9	8/5～8/11	8/10～8/16
コシヒカリ（只見）	8/9～8/12	8/11～8/14	8/16～8/19

ア 除草

出穂10日前までに草刈りを終え、その後は稲のもみが固くなる出穂3週間後頃まで草を刈らないでください。

イ 殺虫剤散布

＜粉剤・液剤の場合＞

- ・乳熟期（出穂期の7～10日後・実を潰すと白い汁が出る）に、穂にかかるように散布します。
- ・その後、多発が予想される場合は7日後に追加散布を行います。

薬剤名	希釈倍数・使用量	使用時期	散布液量	本剤の使用回数
キラップ粉剤DL	3～4kg/10a	収穫14日前まで	-	2回以内
ブラシキラップフロアブル	1,000倍	収穫14日前まで	60～150L/10a	2回以内
スミチオン乳剤	1,000倍	収穫21日前まで	60～150L/10a	2回以内

※ブラシキラップフロアブルは、いもち病との同時防除剤です。

＜ドローンによる液剤散布の場合＞

☆噴霧機等による散布の場合と希釈倍数や使用量が異なるため、事前に確認しましょう。

薬剤名	希釈倍数・使用量	使用時期	散布液量	本剤の使用回数
ブラシキラップフロアブル	8倍	収穫14日前まで	800mL/10a	2回以内
スタークル液剤10	8倍	収穫7日前まで	800mL/10a	3回以内
スミチオン乳剤	8倍	収穫21日前まで	800mL/10a	2回以内

＜粒剤（水面施用剤）の場合＞

- ・穂揃期（出穂し穂が揃う頃）に、湛水状態の水田に均一に散布し、その後7日間以上は止水管理します。
- ・その後、多発が予想される場合は粉剤・液剤による追加防除を行います。

薬剤名	使用量	使用時期	使用回数
スタークル粒剤	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内
ダントツ粒剤	3～4kg/10a	収穫7日前まで	3回以内

【農薬危害防止運動実施中！6/10～9/10】

農薬の安全かつ適正な使用、使用中の事故防止及び環境に配慮した農薬の使用等を推進するため、福島県では、毎年6月10日から9月10日までの3か月間、農薬危害防止運動を実施しています。

次回発行は9月上旬

(刈取り適期について)